



しほろ議会ムダより

平成30年11月 No. 170 ■発行/土幌町議会 ■HPアドレス <http://www.shinoro.jp/assembly/>



Contents

- 9月定例会
条例の改正、補正予算 ほか……………2ページ
- 平成29年度決算審査質疑 ……………4ページ
- かけ橋 「ニューゼラランド研修を通して」
土幌高等学校 アグリビジネス科 2年1組
高橋 六花さん ……………8ページ

土幌町中央中学校 感謝の「音返し」
帯広地区吹奏楽コンクール B編成で金賞

歳出総額147億7千万円の決算を認定可決



第3回定例会の様子

第3回定例会が、9月7日から18日までの会期で開会。

7日は行政報告、教育行政報告、ほか1件の報告を行い、議案5件を審議後、小林町長より自身の進退について、報告があった。(9月8日～10日は議案調査のため休会)

11日は、平成30年度各会計補正予算を審議、平成29年度各会計の歳入歳出決算にかかる決算審査特別委員会を設置し、13日まで審査。(質疑の要約は6～9ページに掲載)

13日に本会議を再開し、全会計の歳入歳出決算を認定、会議案1件、意見書案2件、追加議案の工事請負契約及び物品購入契約の締結3件を審議、全ての議件を原案より可決し、閉会した。

物品購入契約の締結

【スクールバス購入】

○契約の相手方
㈱西部自動車整備工場

○契約金額 8,640千円

○納入期限

平成30年11月30日

【農畜産物加工研修施設加工製造機器等購入】

○契約の相手方

タニコー(株)帯広営業所

○契約金額

25,142千円

○納入期限

平成31年3月20日

工事請負契約の締結

【下居辺地区農地耕作条件改善事業農道整備工事(その2)】

○契約の相手方

平田・佐藤経常建設共同企業体

○契約金額

59,076千円

○工期

契約の日から平成31年1月18日

【農畜産物加工研修施設改築工事】

○契約の相手方

北斗産業株式会社

○契約金額

72,360千円

○工期

契約の日から平成31年3月7日

【議決を要する事件】

地方自治法では、議会において議決しなければならぬ事件の一つとして「その種類及び金額について政令で定める基準に従い条例で定める契約を締結すること。」と規定されており、本町では、

○工事又は製造の請負

予定価格5,000万円

以上

○財産の取得又は処分

予定価格700万円以上

となっている。

条例の改正

【土幌町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例】

地方税法の一部改正に伴い、

保育料の決定に当たり市町村民税所得割課税額の算定に係る特例を設けるため、条例を改正するものである。

人事

【教育委員会委員の任命】

任期満了により、山下氏の再任に同意。

山下 詩子さん(いこい)

【公平委員会委員の選任】

任期満了により、新たに選任された2名を同意。

井上 恵一さん(南団地)



岡崎 睦子さん(土幌南一区)



七條 光寛さん(新生)

【農業委員会委員の任命】

委員の欠員に伴う補充のため、七條氏の任命に同意。

七條 光寛さん(新生)



各会計補正予算

一般会計、ほか2特別会計の補正予算を可決。

主な補正内容は次のとおり

- ▼会計年度任用職員制度導入支援業務 87万円
- ▼都市交流推進委員会活動助成金 50万円
- ▼防犯設備設置工事（市街地10箇所分） 394万円
- ▼住民基本台帳システム改修委託業務 235万円



美濃市産業祭

▼高齢者冬期就労対策事業委託業務（65歳以上を対象とした冬期間の就労対策）

250万円

- ▼介護職員初任者研修受講料助成金（2人分） 12万円
- ▼認定こども園備品購入費 10万円

▼病院事業会計運営資金一時貸付金 1億円

▼緊急雇用対策事業委託業務 400万円

▼農業者年金協議会補助金 47万円

▼畑作構造転換事業補助金 9,126万円

▼農業振興基金積立 200万円



下居辺地区農道整備工事

▼農地耕作条件改善事業調査設計業務 150万円

▼農地耕作条件改善工事 5,000万円

- ▼除排雪機械購入補助金（新規購入費1台分） 250万円



除雪用ホイールローダー

▼土幌小学校改修設計委託業務（校舎へ新たにエレベーターを設置するための設計費） 317万円

▼学校給食賄材料費（備蓄給食として非常食の購入費） 20万円



学校給食用非常食（カレー）

第3回定例会で審議された案件

報告		結果	賛・反
▼行政報告	▼教育行政報告	結果	賛・反
▼例月出納検査報告		了承	
▼条例の改正		結果	賛・反
▼土幌町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例案		可決	全員賛成
▼一般議案・その他		結果	賛・反
▼物品購入契約の締結について		可決	全員賛成
▼物品購入契約の締結について		可決	全員賛成
▼工事請負契約の締結について		可決	全員賛成
▼工事請負契約の締結について		可決	全員賛成
▼議員派遣の件		可決	全員賛成
▼人事		結果	賛・反
▼公平委員会委員の選任について		同意	全員賛成
▼教育委員会委員の任命について		同意	全員賛成
▼農業委員会委員の任命について		同意	全員賛成
▼平成30年度各会計補正予算		結果	賛・反
▼一般会計（第4号）		可決	全員賛成
▼国民健康保険事業特別会計（第2号）		可決	全員賛成
▼介護保険事業特別会計（第2号）		可決	全員賛成
▼平成29年度各会計歳入歳出決算認定		結果	賛・反
▼一般会計		認定	全員賛成
▼国民健康保険事業特別会計		認定	全員賛成
▼後期高齢者医療事業特別会計		認定	全員賛成
▼介護保険事業特別会計		認定	全員賛成
▼介護サービス事業特別会計		認定	全員賛成
▼簡易水道事業特別会計		認定	全員賛成
▼公共下水道事業特別会計		認定	全員賛成
▼農業共済事業特別会計		認定	全員賛成
▼国民健康保険病院事業会計		認定	全員賛成
▼意見書		結果	賛・反
▼林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書		可決	全員賛成
▼JR根室線の早期災害復旧と路線維持を求める意見書		可決	全員賛成

平成29年度 一般会計ほか8会計

決算委員会質疑

第3回定例会で付託された平成29年度各会計決算審査特別委員会（細井文次委員長）において、各委員から出された質疑の一部を要約してお知らせします。

一般会計

総務費

職員の健康管理の徹底を

清水委員 監査委員から、タイムカードの整理について多数の課において出勤・退勤時間の表示漏れや休暇等の表示漏れが増加しているという指摘がある。出勤・退勤時刻をタイムカードにきちんと刻印させることを徹底し、職員の健康管理をしなければならぬのではないか。

小林町長 職員の健康管理は非常に重要で、時間外について

移住体験住宅の取組について

出村委員 平成26年度から始めて、今年で5年目となるが移住された方、若しくは移住されようとする方がどのくらいいるのか。



農園付き住宅（下居辺地区）

では今なるべくしないようにということ、60時間以上になる場合は副町長に決裁を上げて協議をするようにしているが、なかなか減らない実態もある。仕事の仕方としてグループの中で手分けをするとか、急ぐものと急がないものを分けるという取り組みをしながら行政改革の中で今後きちんと検討していく。

石垣地方創生担当課長 体験者は数十組いるが、移住にはなかなか結びついていないが、昨年度体験住宅を利用された方が、今年度は農園付き住宅

を利用され、完全移住される方が一組となった。

出村委員 土幌町への移住が目的であり、更に今年度から農園付き住宅を建設し、今後移住して頂けるための対策をどのように進めていくのか。

郷原総務企画課担当主査 今後の取り組み、解決策については、通年での移住体験メニューの開発等を検討していきたい。具体的には食の体験プログラム、健康増進を目的とした座学プログラムなどで積極的な移住促進につなげていきたい。

職員研修受講の改善と取組は

秋間委員 20名の職員が接遇研修を受講しているが町民から職員の方に対しての挨拶等について要望が出てくる。この研修によりどの様な改善策を講ずるのか。新年度に向けての取り組みは。

瀬口総務企画課長 接遇研修については、帯広市が中心となり行う十勝定住自立圏の広域研修と北ブロック三町で行う研修を受講して、両研修とも1・2年目の職員に実施している。新年度についても積極的に参加させていきたい。今後についても接遇の重要性を職員に伝える。

役場の指定金融機関の対応は

大西委員 昼休みに他の課は日直がいて対応してくれるが、役場内の金融機関は支払いしたいと思っても閉まっている。住民サービスの大事なところと思うが。

三島会計管理者 役場の指定

金融機関の窓口は、農協職員2名体制で、昼は窓口休止だが事前に連絡をいただければ税務職員の対応は可能です。

大西委員 住民サービスを徹底するならどのようにすればよいか考えてもらいたい。

柴田副町長 これまでも役場の金融機関の窓口は昼休みに閉まっていた。町民課の窓口には常時昼休みでも1名体制で残しているので、町税の納付等は受けられます。住民サービスは低下ではないと思っ

大西委員 住民サービスの低下ではないというなら、昼休みの時間の「納税は町民課でも受けられます」と書いておくべきだ。

柴田副町長 今後周知します。

お知らせ

土幌町役場内派出所窓口に関しては、12:00~13:00迄の間窓口を閉鎖しております。JA貯金業務に関してはATMを使用願います。ATMが使えない方につきましては土幌町農業協同組合本部（土幌町字土幌西2線159番地）でお昼時間を対応しております。その他出納業務に関しましては町民課窓口にお問い合わせください。

金融機関 窓口に掲載

土幌町の障がい者雇用の状況は

大西委員 土幌町は障がい者雇用率を達成しているようだが、障害者手帳もしくは療育手帳を確認しているのか。またどういった障がいの人を何人使っているのか。

瀬口総務企画課長 本町では障害者手帳をきちんと確認している。直近の30年度では重度が2人、重度以外が2人いる。重度の場合は1人を2人と数える。

大西委員 今後2021年度からはさらに雇用率が1%上がるというのだが、採用の際に障がい者枠で採用するの

瀬口総務企画課長 障がい者枠でこのことについて検討している。

Lasieの取組について

加藤委員 行政が取り組み環境対策の中で目標値を掲げて達成することは、非常に見栄えはいいが、この取り組みが

どの程度の効果をもたらすのか、どのように捉えているのか。

瀬口総務企画課長 言われるところもあるが、二酸化炭素削減という名目もありノーマイカーデーは一人六回以上であり、まずはできるところから、更に回数もふやしていけたらと思う。取り組みの方法をいろいろと検討しながら進めていく。

加藤委員 職員の取り組みがどのくらいの二酸化炭素を抑えたか、その目標値が上がっていくのであれば、環境対策の改善として値があるのでは。
小林町長 ノーマイカーデーがどれだけ排出量を減らすということではなく、全職員の意識づけの一つだということをご理解を。

空き家対策の取り組み状況について

和田委員 近年、台風等自然災害により大きな被害が道内で発生している。自然災害で倒壊する可能性がある空き家についての対策を伺う。

郷原総務企画課担当主査 調査結果によると空き家については、120軒、その内25軒が倒壊の可能性、現状利用が困難な物件がある。29年度空き家等対策協議会を設置し、対策計画を策定した。今後5年間をかけて取り組みを進める。

和田委員 今現在、危険な空き家についての取り組みは。
郷原総務企画課担当主査 所有者に対し除却等を進めている。また、土幌町空き家解体助成金の利活用も進めている。

【空き家等解体撤去費用助成事業】
○目的

空き家等の解体により、住宅用地の流動化が活発に行われ、住宅などの建設を促進する。

○助成内容
町内の解体業者を利用して過去に住宅として使用していた空き家を解体する場合には、費用の2分の1以内(限度額100万円)

○問い合わせ先
土幌町商工会
TEL: 512614

出生率の向上について

大西委員 昨年度の本町の出生は38人。子育て支援で3人目に30万円出しているのになかなか増えていかない。町内で子供が生まれると誰もがうれしいことと思うが、名古屋では出生届をもっていくと市民課の全員が立っておめでとうの拍手をするそうです。そういうことを町民課でもやったらどうか。

辻町民課長 すぐにもできそうな意見なので、係と相談検討します。

衛生費

浄化槽の未受検対策

秋間委員 浄化槽法による法定検査の受検率が下がっている。新規については契約時に誓約して指導もしているということだが、過年度の設置者に対してどのような指導をしているのか。また、新規で受

農林業費

農地交換分合事業の実施見込みは

加藤委員 農業経営基盤強化促進法に基づき賃貸借の人数

では、平成29年度に108人が借入者となっており、農家戸数は平成7年には496戸、昨年度は367戸で大幅に農家戸数は減ってきている。借入者の増加は近年、交換分合が進んでいないのが背景にあると思う。農業委員会として交換分合の実施をいつごろと考えているのか。

角田農業委員会事務局長 平成24年度に士幌北地区で実施し、5年を経過しているところであり、今年度は地区要望等について、冬場にかけて地区を選定しアンケートを実施する考えでいる。皆さんにご意見等をいただきながら交換分合事業等の実施に向け進めていく。

けていない人はいないのか。
辻町民課長 新規の方の未受験者はいない。以前から受けていない方については個人のモラルの問題であるが、引き続き粘り強くお願いしていく。
秋間委員 町で助成し事業展開をし、法律の中で執行されているものであるから、どのような方法で受けてもらうか「規制を含めた通達」へらい考えながら指導すべきでは。
辻町民課長 北海道が権限を持っていた時にも罰則規定があるにもかかわらず何もやってこず、町に権限移譲後もそのままにしているという状況である。他の町村も調査して対処を考えたい。

エンジン対策について

清水委員 自動爆音機に対しての助成希望があるが対応は、

小林町長 今後、爆音機等、様々な対策を検討し、実効性がある方法が必要と思われる。農協等とも連携し様々な取り組みを行う必要がある。



爆音機（農作物被害対策用）

教育費

学力向上対策

大西委員 学力向上の取り組みという報告で、何々を実施しましたが、開催しませんでした

なく、結果を報告してほしい。これをやったから全国学力テストでこういう結果に反映されたなどと報告してほしい。

藤村教育課長 記載について今後検討します。学力テストの結果は広報紙に掲載のとおりです。

大西委員 ほかの課も同じだが、お金を使って終わりではなく、このような結果が出てほしい。

堀江教育長 委員が言うように成果、効果を書くのが、決算報告と思うので今後検討します。学力テストの結果では対象者が変わるの、結果にだけ一喜一憂すべきではないと思っっている。

この数字はどの位置にあるのか。

高木保健福祉課長 数値的に十勝管内での位置というのは今資料を持ち合わせていないが、被保険者一人当たりの施設サービス給付費が十勝管内でもトップの位置にあり、施設と在宅サービス給付費を合わせた額でもトップの方にあります。

大西委員 サービスは徹底してほしいが、それに伴って介護保険料が上がってくる。介護を受けていない方にとっては非常に高い負担になる。介護予防をして在宅での介護を支援していく方法は考えているのか。

介護保険事業特別会計 高騰要因は

大西委員 介護保険の中の在宅サービスと施設サービスの比率で、本町は施設サービスが62・5%と高く、大きな負担となっている。十勝の中で

高木保健福祉課長 29年度から在宅を支えるために生活支援体制整備事業ということで、社会福祉協議会に委託し、地域の中でいかにして専門職以外の者で支えていくかということを多様な団体やボランティア等を組織しながら体制を構築し、介護サービスを使う部分を少しでも減らし、在宅で支えていくことを検討している。

介護サービス事業特別会計

入所者の看取りに
対する取組は

大西委員 現在、看取りや延命処置の扱い方(尊厳)を本人の意識が無い中で、家族等の方々に決めなければならぬと聞けが、提案として入所者あるいは入院者の意識がしっかりしている時に意思を確認しておくことにより、特養なり病院がスムーズな対応がとれるのでは。検討する余地は。

佐藤特養施設長 看取りをどうするか、病院の延命治療をどうするか、本人の意思を尊重するかというところが極めて難しい問題となっている。

ホームの中でも検討しているが入居者の体調が良くないときに看取りのカンファレンスなどを実施しており、ご家族と相談して方針を決定している。

山中センター長 前向きに特養入所時に意思表示をどのようになっているのかわかるような格好で検討する。

国民健康保険病院事業会計
訪問看護の運営及び
看取りについて

国民健康保険病院事業会計

取りを行ってはどうか。
池田病院院長 現在、訪問看護は3名に行っている。今後、病院としても訪問看護を病院の経営ということも考え推し進めていきたい。

大西委員 病院の赤字の解消方法の一つとして、来院しやすい病院づくりとして町民と医師・看護師との接点をより多くしては、如何か。

池田病院院長 各種イベントへの積極的な参加や地域イベントでの講話と機会があれば看護師と共に参加して行きたい。

佐々木総看護師長 訪問看護については、家族の希望に添った形でまた患者さんに寄り添う看護をしていきたい。院長同様、地域イベントの参加も行っていきたい。

赤字縮減の
対応について

大西委員 国保病院の赤字部分分が4億4千万円になってきたことで対応が難しい状況だが、病院の看護師や医師もずっと町に出て町民と対話するなどの接点を持つことで、病院に知っている先生のところへ行こう、知っている看護師のところに行こうとなると思う。今年は盆踊りに病院として参加したこともあり、7千人まつりで血圧測定などをやったらどうか。

佐々木総看護師長 医師と共に地域に出かけて講話をしただりしてきたので、今後も継続していきたい。地域に根差す点で、盆踊りには来年は院長も参加すると言っているのでたくさん看護師や職員も参加できるように募りたい。



特別養護老人ホーム ふれあい夏祭り



町立病院職員が仮装盆踊り大会に参加

「ニュージーランド研修を通して」



北海道士幌高等学校
アグリビジネス科 二年一組

高橋 六花 さん

八月十八日から二十八日までの十日間、私は全国から集まった女子農業高校生十九人の仲間と共にニュージーランドへ酪農研修に行ってきました。今回、日本中央競馬会平成三十年度畜産振興事業「未来の畜産女子育成プロジェクト」として参加させていただきました。士幌高校で畜産専攻班に所属し、アニマルウェルフェアについて学んでいた私は、自分の目でニュージーランドの放牧酪農を見てみたいと思い参加しました。高校に入学してから二年生に進級し、牛について学ぶ時間がようやく増えたため、知識や経験が浅く、不安と緊張の多い東京での事前研修でしたが、同じ悩みを抱える人やとても知

識がある人など、色々な人がいました。日本とニュージーランド酪農の違いや、ニュージーランド大使館に訪問に伺った事前研修は、難しい話も多かったですが、皆から教えてもらうなど一緒に考える事ができたのでとても楽しく、勉強になりました。ニュージーランドでは、サウスランド・ガールズ・ハイスクールの寮に宿泊させて貰いました。研修中はもちろん、普段の生活でも英語を話す機会が多く、今までA・L・Tに習った事やイングリッシュキャンプの経験のおかげで率先してコミュニケーションをとる事ができました。士幌町や士幌高校は英語に触れることができる機会が多くあるので、英語に

興味のある私にとってとても有り難いことだと改めて思いました。寮生活以外にも朝や夕方に酪農に関する英語の授業を日本語を学ぶ学生さんと一緒に学ぶこともできました。ニュージーランドの酪農は、日本と違い一年中牧草が生えているため放牧酪農が主流です。また、今回訪問したほとんどの農家さんは、飼育しやすいようにホルスタイン種とジャージー種をかけ合わせたキウィークロスという品種を飼育していました。北海道で放牧しようと思うと冬は雪が降るため一年中できません。本州などは、雪は降らない代わりに土地が足りないなど、日本での放牧は合っていないのではないかと思います。また、日本は地域によって気候が全然違うにも関わらずホルスタイン種ばかり飼育されています。ホルスタイン種のように寒さに強い牛は寒い地域で育て、暑い地域では暑さに強い牛を改良し、育てるなど、その地域や環境に合った牛にすることで牛も人もストレスを軽減できるかもし

れないと考えました。その他にも、ニュージーランドでは女性経営者が多く活躍しているため、話を聞いてきました。ニュージーランドでは日本のような男女の差（ジェンダーギャップ）があまり見られず、ビジネスパートナーとしてお互いを尊重し合っていました。また、尊重していたのは人だけでなく牛に対しても同じでした。尽くした分だけ返してくれるという考え方を持っていました。この考え方はぜひ日本の酪農家さんには勿論、自分も大切にしていきたいと思います。この研修を終えて、私は将来、家畜や畜産業を営む人たちがよりストレス無く、自然を守りながら仕事ができるように、日本でできるアニマルウェルフェアについて考え、学んでいきたいです。そのため、今士幌高校で取り組んでいるアニマルウェルフェア認証審査にも積極的に取り組み、豊かな士幌町の酪農を支えられるようにこれからも頑張ってお勉強に励みたいと思います。